



## 桜の故郷・心の旅

干 麗 静  
GAN LI JING

あのとし、桜が爛漫と咲いて、日本では一面の美しい景色になりました。あの時私たちは桜木の下で写真を撮るのが好きでした。あつという間に私は日本でもう二年半を過ごしました。

目を閉じて、頭に浮かぶのは日本に来たばかりの光景です。あの日私は荷物を持って、家族のみなどと、特にママと呼ぶことができたばかりの私の娘と涙をぬぐって別れました。私は日本に行く仲間と同じで期待と不安の気持ちを抱いて新しい旅を始めました。

日本に来たら、最初の一月にしたのは日本語を勉強することと日本の生活を理解することです。その期間、私はベトナム、ミャンマーから、自分の夢のために来た外国の友達と知りあいました。その時私は日本の青くて美しい海を初めて見ました。

研修センターで一月のトレーニングは速く終わりました。会社につくまで、私たちは日本の道路が本当にきれいで空気もすがすがしいと感嘆しました。一つ一つ家並みを見ていると、心には一つ言葉にならない気持ちが湧きました。会社での仕事を始めると、皆さんは優しく、礼儀もあります。私は日本人は厳しいと思っていましたが全然違いました。会社は私たちにいい住居を提供してくれました。インターネットもあります。休みの日は家族と連絡ができます。私はこのことにとっても感謝しています。だんだ

ん私たちは日本の仕事と生活に慣れてきました。ビデオチャットで見て、娘は日一日成長しています。ふと自分もすいぶん変わったことに気づきました。今の私は毎日時間どおりに起きて、料理を作ります。会社では人に丁寧な挨拶をします。これは前の私にはできなかったことです。

しかしある日、娘とビデオチャットして、娘は急に「お母さん、早く帰って下さい、私の友達みんな、お母さんがそばにいます。私もお母さんがそばにいて欲しい。」と言いました。これで、実は知らない間に私は娘にたくさん借りができていたことに気づきました。夜、私の心が落ちつくまでに長い時間がかかりました。ずっとお金を貯めるために努力することは娘にもっといい子供時代をあげるためと思っていましたが、彼女はまだ幼く、もっと付き添うことが必要だと気づいたのです。しかし彼女は大きくなればきっと私の心が分かると思います。私は日本で残った日に、もっと仕事を頑張って、日本語をよく勉強して、将来は娘によい手本になりたいと思います。

みんなにあげる一番いいプレゼントとして、自分の勤勉さと時間を引き換えてもらいました。三年いることによって、私はもっと勤勉に、もっと勇敢に、もっと自信を持てるようになります。

風が吹いて来て、桜木を揺らしています。桜雨が降っています。美しくて優雅ですね。私の夢も今この時にもっと固まりました。

国	籍	中国
職	種	婦人子供服製造
実習実施機関		仲谷被服有限公司
監理団体		テックス国際交流協同組合